

お名前

川畑結央さんのお母さま

「受かっても行きたくない学校は、受けてはいけない」これが、受験を振り返って娘がつぶやいた言葉です。親（私）は、つい模試の結果だけを基準に志望校を変える提案をしがちでした。しかし、娘は「レベルを下げても、自分の夢がかなうところ」「たとえレベルが上でも、夢から遠ざかる学校は受けない」という視点を崩しませんでした。そして、東進の先生方もその思いを尊重し、志望校の提案をして下さいました。最後は、「全体無理だけど（E判定！）、受けないで後悔するより受けて落ちた方がいい」と言って受けた第一志望に合格しました。「受験は夢をかなえるためのもの」だということを、再認識しました。夢を持つのもかなえるのも、情報収集が大切です。先生方は、多くの学校や受験に対してたくさんの情報をお持ちです。模試の結果だけでなく、しっかりとした情報を基に「夢をかなえる」ための合格を勝ち取ってください！